

SUZUKI ADDRESS V125/G ('05-'07) Tri-Oval サイクロン

取扱説明書

- 作業に入る前に必ず取扱説明書を熟読して下さい。
- 作業中は本書を手元に置き、指示に従って作業を進めて下さい。
- 本書は製品を廃棄するまで確実に保管して下さい。

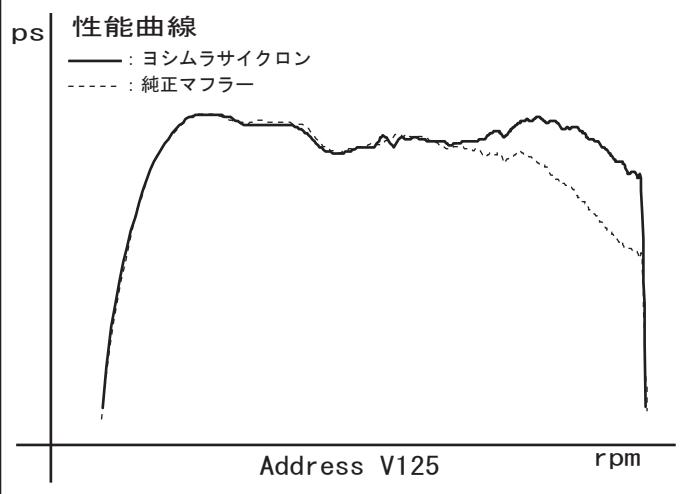
▲危険 慎ると怪我につながる注意事項を示してあります。

▲注意 慎ると部品の損傷等につながる注意事項を示してあります。

参考 スムーズに作業を進める上でのポイントや参考となる事項を示してあります。

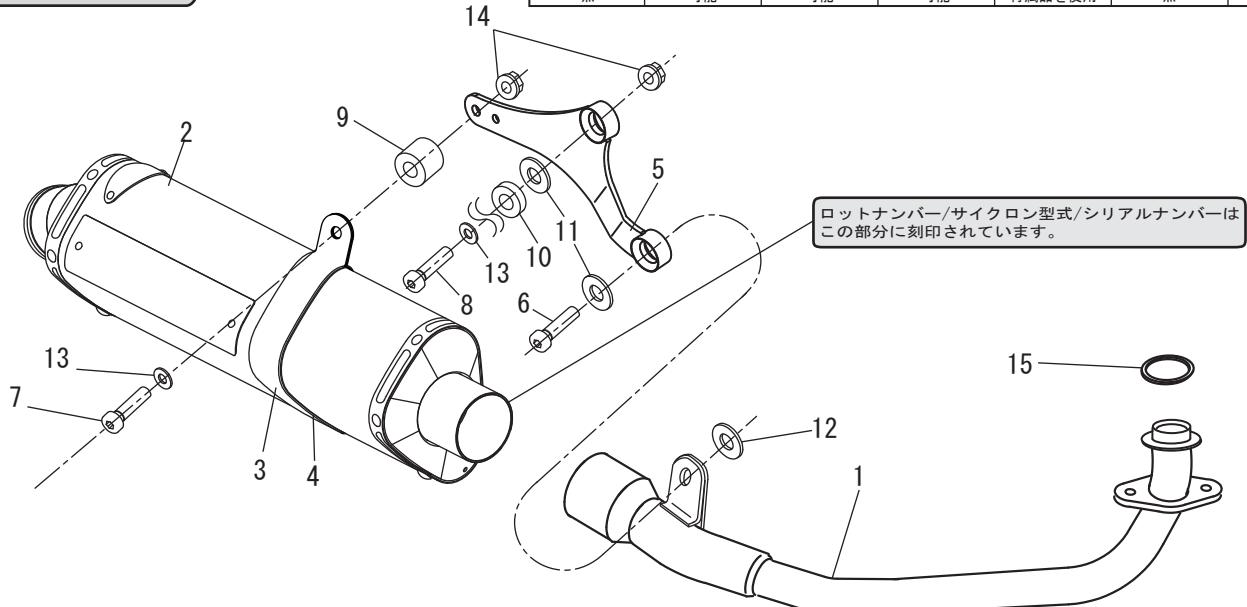
1. 適応車種及び諸元表

車名	SUZUKI Address V125/G ('05-'07)	
形式	BC-CF46A	
エンジン形式	F468	
JMCA認定番号	00132281	
サイクロン形式	S103TOSA	
素材	SUS/チタン	
品番	ステンレスサイレンサー	: 110-103-5351
	チタンサイレンサー	: 110-103-5381
	チタンブルーサイレンサー	: 110-103-5381B
重量	純正マフラー	: 4.4 kg
	ヨシムラ サイクロン (ステンレスサイレンサー)	片-合 : 2.5 kg
	ヨシムラ サイクロン (チタンサイレンサー)	片-合 : 2.3 kg
	ヨシムラ サイクロン (チタンブルーサイレンサー)	片-合 : 2.3 kg



2. セット内容

触媒	オイル交換	オイルフィルター交換	センタースタンド	ガスケット	カウル加工	サイレンサーリメイク
無	可能	可能	可能	付属品を使用	無	可能



No.	品名	数	品番	No.	品名	数	品番
1	エキゾーストパイプ	1	111-103-5102	8	キャップボルトM8×55 全ネジ	1	800-208X5055
2	サイレンサー (ステンレスバー)	1	139-103-5352	9	カラー8-25-25	1	850-008B2525
	サイレンサー (チタンバー)		139-103-5382	10	カラー8-20-5	1	850-008-2005
	サイレンサー (チタンブルーバー)		139-103-5382B	11	平ワッシャーM8-26-1.6t	2	812-108-2600
3	サイレンサーバンド (ステンレス・チタン)	1	162-40R-0028	12	平ワッシャーM8-25-3.0t	1	812-108-2530
4	サイレンサーパンド用スレーブバー (ステンレス・チタン)	1	896-005-2903	13	ボルト用サラバネM8	2	810-208-0000
5	サイレンサーステー	1	116-104-2301	14	M8 フランジナット	2	823-008-1250
6	キャップボルトM8×35	1	800-208-5035	15	ガスケット (スズキ純正部品を使用)	1	129-103-1001
7	キャップボルトM8×45	1	800-208-5045				

3. 取付方法

△注意 ※作業時は部品を損傷しないよう注意して作業を行なって下さい。
※ボルト、ナット締め付けの際は必ず規定トルクを守って下さい。
ボルト、ナットの脱落・製品の破損の原因になります。

1. セット内容を確認して下さい。

2. メーカー発行のサービスマニュアルを参照し、車体等を傷つけない様に注意しながら純正マフラーを取り外して下さい。 (FIG. 1 参照)



FIG. 1

3. 純正エキゾーストガスケットを取り外し、⑯エキゾーストガスケットのツバを FIG. 2 の通りに矢印の方向に折り、車両に取り付けます。 (FIG. 2 参照)

参考 ⑯エキゾーストガスケットのツバは脱落防止の為についています。

4. ①エキゾーストパイプを純正ナットを使用して、エンジンのポート部に仮締めします。 (FIG. 3 参照)

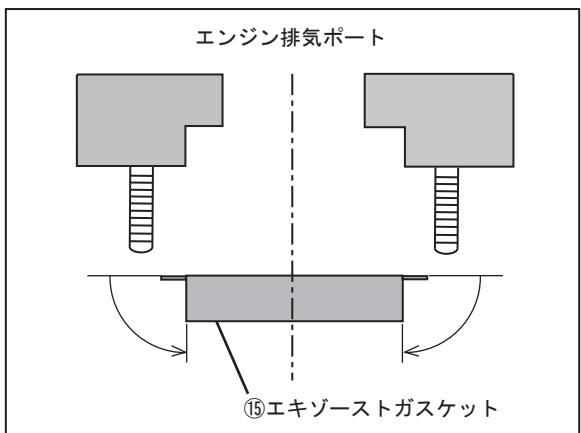


FIG. 2

5. 純正マフラーから付属のラバー及びカラー各々 2 点を取り外し、⑤サイレンサーステーの前側 2箇所の穴にラバーを挿入後、カラーを内側より取り付けて下さい。 (FIG. 4, 5 参照)

△危険 純正マフラーからラバーを取り外す際、ラバーはきつく挿入されています。工具等で取り外す際、怪我に注意して取り外してください。

参考 ラバーを純正マフラーから取り外す時と、⑤サイレンサーステーに挿入する際、中性洗剤等を塗っておくと作業がやり易くなります。

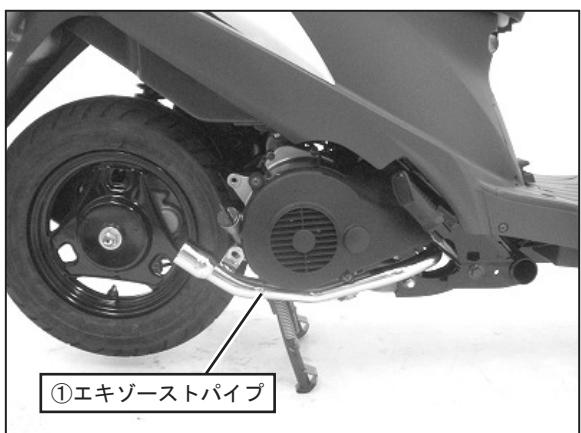


FIG. 3

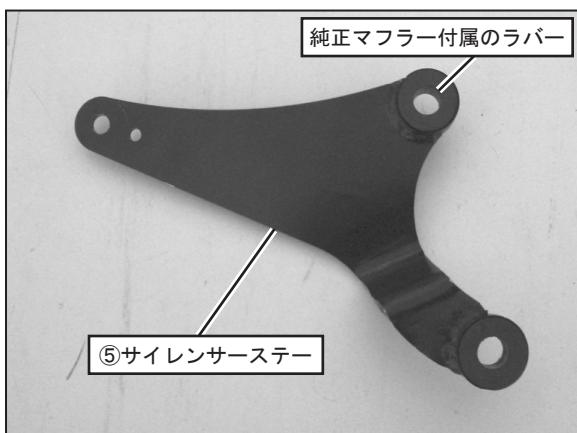


FIG. 4

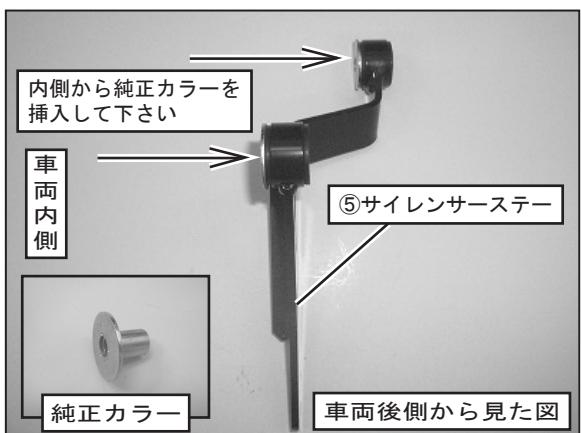
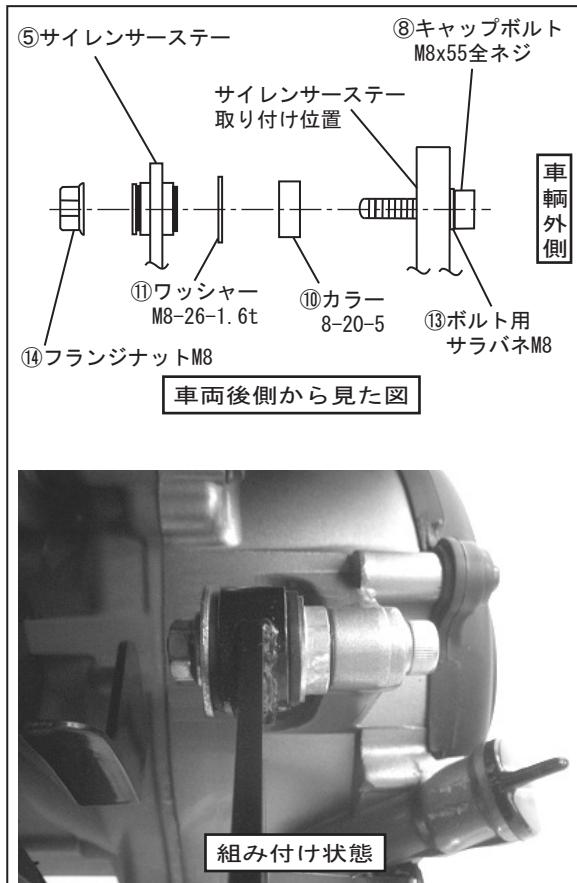
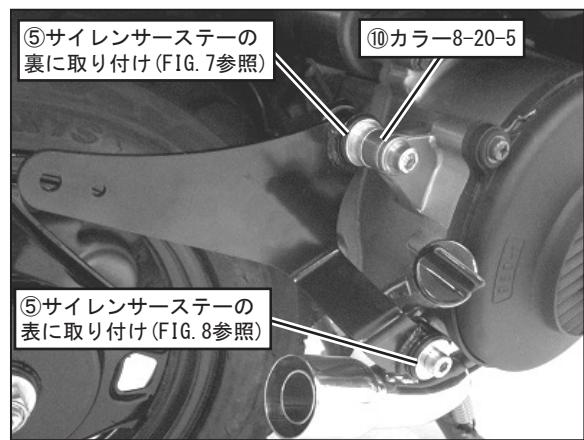


FIG. 5

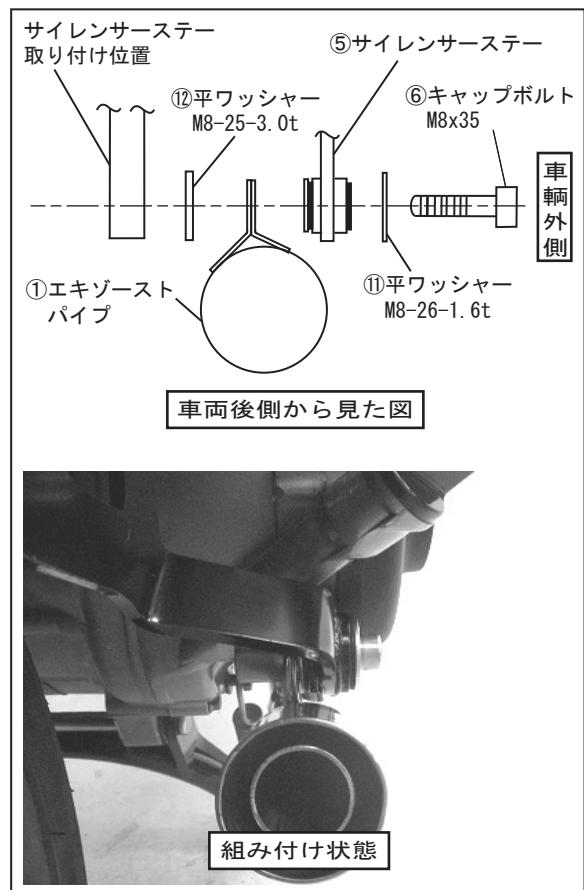
6. ⑧キャップボルトM8×55全ねじ、⑬ボルト用サラバネM8を純正マフラー取り付け部（車両上側）に仮締めし、⑩カラー8-20-5、⑪平ワッシャーM8-26-1.6tを取り付けた後、車両内側から手順5にて純正ラバーを入れた⑤サイレンサーステーを取り付け、⑭M8フランジナットにて仮締めをして下さい。
(FIG. 6, 7参照)



F I G. 7



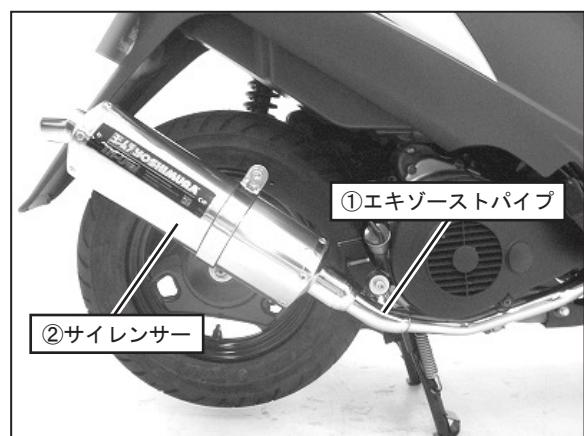
F I G. 6



F I G. 8

7. 手順6にて取り付けた⑤サイレンサーステーとサイレンサーステー取り付け位置の間に①エキゾーストパイプのステーと⑫平ワッシャーM8-25-3.0tを挟み、車両外側から⑥キャップボルトM8×35、⑪平ワッシャーM8-26-1.6tにて仮締めをして下さい。
(FIG. 8参照)

8. ①エキゾーストパイプに②サイレンサーを奥まで挿入して下さい。 (FIG. 9参照)



F I G. 9

9. ②サイレンサーに③サイレンサーバンド、④サイレンサーバンド用スペーサーラバーを通して、⑦キャップボルトM8×45、⑬ボルト用サラバネM8、⑨カラー8-25-25、⑭M8フランジナットにて⑤サイレンサーステーに仮締めして下さい。（FIG. 10, 11参照）

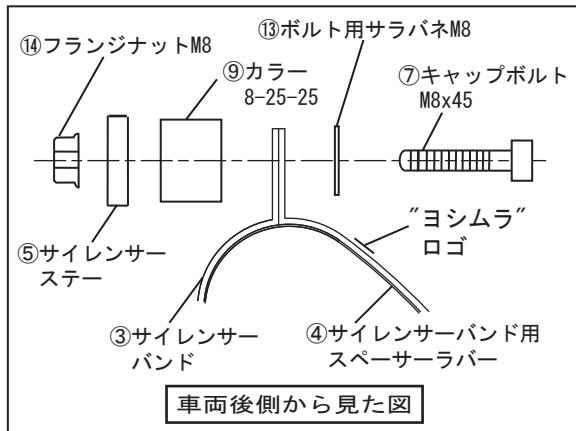


FIG. 10

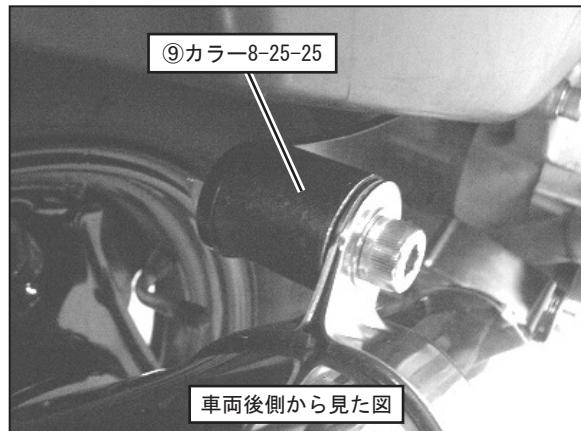


FIG. 11

10. フランジ部のナットを排気漏れをしないように規定トルクで締め付けて下さい。

△注意 規定トルク 純正ナット : 12 Nm

11. 手順6にて仮締めしたサイレンサーステー車両上部外側の⑧キャップボルトM8×55全ねじを規定トルクで締め付けて下さい。

△注意 規定トルク M8×55 全ねじ : 28 Nm

12. 手順6にて仮締めしたサイレンサーステー車両上部内側の⑭M8フランジナットを規定トルクで締め付けて下さい。

△注意 規定トルク M8フランジナット : 28 Nm

13. 手順7にて仮締めしたサイレンサーステー車両下部の⑥キャップボルトM8×35を規定トルクで締め付けて下さい。

△注意 規定トルク キャップボルトM8×35 : 28 Nm

14. 手順9にて仮締めした⑦キャップボルトM8×45と⑭M8フランジナットを規定トルクで締め付けて下さい。

**△注意 規定トルク キャップボルトM8×35 : 28 Nm
M8フランジナット : 28 Nm**

1 5. 中性洗剤、ウエス等でマフラー全体を良く脱脂して下さい。指紋などが付着したままエンジンを始動すると、色ムラとなって残ってしまうことがあります。

△注意 ※エンブレムの色落ちの原因になりますので、中性洗剤以外は使用しないで下さい。

1 6. 暖気運転を行ない、排気漏れが無いことを確認し、エンジンが完全に冷えてから各ボルトの増し締めを行なって下さい。

参考 製品取付け直後、暖気運転時にサイレンサーより白煙がでて、多少臭いますが、異常ではありません。白煙は使用していると止まります。また白煙は人体・環境に対して無害ですのでご安心下さい。

1 7. 走行中アフターファイアーが激しく鳴る場合は、エキゾーストパイプの差し込み部に、市販の液体ガスケット等を塗りシーリングを行って下さい。作業はエンジンが完全に冷えてから行って下さい。



SUZUKI Address V125 Tri-Oval Cyclone

!**重要**

※マフラーが車体と干渉したままエンジン始動や走行を行うと、火災や転倒などの事故の原因になりますので、マフラーが干渉していないことを充分確認して下さい。また、どうしても干渉が避けられない場合や、走行中に干渉しているような場合は、直ちに使用を中止し、(株)ヨシムラジャパンのお問い合わせ窓口までご連絡下さい。

!**危険**

※エンジンを始動する際は、換気の良い所で行うこと。排気ガスにより、一酸化炭素中毒になる恐れがあります。
※エンジン始動時は排気口に手を出したりしないこと。排気ガス中に含まれるグラスウール等が目や手などに刺さる恐れがあります。
※エンジン停止時に空吹かしをして止めた場合、マフラー内部に未燃焼ガスが溜まり、着火してテールエンドより炎を発する場合があります。テールエンドの先には引火しやすい物が無いことを確認してからエンジンを停止して下さい。発火した炎により引火し、爆発や火災が発生する恐れがあります。

!**注意**

※取付け、取扱いの不注意による返品は、固くお断り致します。
※製品に加工、改造などは絶対行わないで下さい。それらの場合の修理苦情等一切の責任を負いかねます。
※他メーカー製品との適合は行っておりませんので、本製品取付け、使用時に不具合が発生する恐れがありますが、それらの場合の修理苦情等一切の責任を負いかねます。

●ヨシムラサイクロンのメンテナンス

※走行中アフターファイアーガが激しく鳴る場合は、エキゾーストパイプ・テールパイプ等の差し込み部に、市販のマフラー用液体ガスケット等を塗りシーリングを行って下さい。作業はエンジンが完全に冷えてから行って下さい。
※マフラーが砂や泥で汚れてしまった場合は、マフラーが冷えてから水洗い等で汚れを落として下さい。定期的に増し締めを行い、マフラー各部の点検（変形、キズ、車体との干渉等）を行って下さい。
※エンブレム等の色落ちの原因になりますので、バーツクリーナー又は有機溶剤等の使用はご遠慮下さい。マフラーの脱脂等には、中性洗剤を使用して下さい。
※サイレンサー内部の消音材は消耗品です。消音材が消耗すると音量増加のみでなく、出力の低下にもなります。消音材が消耗した場合は、リメイクサービスをご利用いただくことにより、長く安心してご使用いただけます。リメイク内容についてはお問い合わせ下さい。また、転倒などによる損傷の場合には、(株)ヨシムラジャパンに連絡の上、修理または損傷部品の交換等を行って下さい。

●2年保証について

※レーシングサイクロンを除く全ての一般公道用サイクロンは保証対象です。オンライン保証登録をして頂き、購入日を証明するレシート等を保管して頂くことにより、購入日から2年間の保証対象となります。

保証登録のご案内



※登録方法につきましては右記のQRコードから又は下記のアドレスよりオンライン保証登録のご案内ページを参照して下さい。

※使用過程で発生した商品の変色・錆・塗装剥がれにつきましては、保証対象外となりますので予めご了承下さい。特に素材に鉄やアルミを使用した部分は、使用期間や走行距離にかかわらず錆が発生する場合があります。同様に塗装商品も使用期間や走行距離にかかわらず塗装剥がれが発生する場合があります。

アフターサービスのご案内



長く商品をご使用いただく為にメンテナンスが必要となります、ヨシムラジャパンでのリメイク/再塗装サービスもご用意しております。詳しくはヨシムラジャパンホームページをご覧下さい。

※製品については慎重に品質管理を行っておりますが、万一不良・不都合がありましたら保証規定に従い保証対応を致しますので、お買い上げ店又は(株)ヨシムラジャパンまでお知らせ下さい。

オンライン保証登録のご案内 : <http://www.yoshimura-jp.com/products/online-warranty.php>

●「政府認証マフラー」について

※本製品は、騒音規制に適合するため「近接排気騒音」「加速走行騒音」を測定して法規制値をクリアし、公的認証機関の試験に合格した「政府認証マフラー」です。

※詳しくは、ヨシムラジャパン、販売店又はJ M C A事務局までお問い合わせ下さい。

(株)ヨシムラジャパン 〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津6748

マフラーリメイクのご案内

・マフラーリメイクのご案内



- ・マフラーに関する技術的なご質問、ご相談
- ・マフラーの修理や商品に関するご質問、ご注文

お問い合わせのご案内



お問い合わせいただく際は、「商品名」「商品番号」「車種」「車両年式」「車両型式」をご確認の上、ご連絡下さい。